

平成30年度別府市人権教育学級閉級式

日 時 平成31年2月7日（木） 11:30～11:55
場 所 別府市役所 5階大会議室

- 1 はじめのことば
- 2 あいさつ（概要）

①別府市教育委員会 教育長 寺岡 悌二（市長代理）

本日は、第37回人権教育学級の閉級式に、お忙しい中、ご出席を賜りありがとうございます。皆様におかれましては、昨年の6月1日の開級式以来、8回の講座で人権についていろいろな見方・考え方・感じ方に出会ったのではないかと思います。現在、国の方も障害者差別解消法、部落差別解消推進法、ヘイトスピーチ解消法、等々、法律で人権を守ろうという動きがあり、非常に大きく進歩しているところです。



寺岡教育長

また、学校におきましてもそういう法律を受けて、一人ひとりの子どもたちがより安全で安心して過ごせる園・学校づくりを行っています。そんな中、千葉県で子どもの命がなくなるという痛ましい事案が起きました。どうしてそんなことが起きるのかを考える時、私たちは人権や人をどう思うのか、日々、研修をしながら常に自分自身を問い直さなければいけないと思います。

人権教育学級で、いろいろなことを学び、いろいろな考え方に出会ったと思いますが、どんなに理論や話を聞いても行動に移せないところはよくあります。思うことと行動の間には大きな距離があると言われていています。ですから、できるだけ、自分が思ったら即行動できる人になれるよう努力が必要です。学校も家庭も本気で子どもと関わることが大事になってきます。

今日は、第8回の人権教育学級で学び、いろいろな考え方や見方に出会ったと思いますが、是非、子どもたちや周りにいる人たちに何らかの形で生かされるようになればと願っています。

この一年間本当にお疲れ様でした。託児の関係の方々、講師の方々にもお世話になりました。これからも何らかの形で自分自身が豊かになれる人権教育学級になればと願っています。今後も園や学校へのお力添えをお願い申し上げまして、お礼の言葉といたします。

②別府市PTA連合会 会長 大塚 俊夫

本日は、第37回人権教育学級の閉級式ということで一年間活動お疲れ様でした。大変ありがとうございました。いつも、家庭のこと、食事のこと、そして仕事の合間をぬって忙しい中をPTA活動にご尽力いただいていることに家族やPTAを代表して心よりお礼申し上げます。

人権教育学級の根っこである目的は、同和問題をはじめとするさまざまな人権問題を正しく認識して明るい社会をめざすための人材の育成ということになっています。8回の講座で気づいたことや学んだことがたくさんあると思いますが、ここで終わるのではなく、各単Pに持ち帰っていただいてお伝えする、そこまですべき仕事であろうと思います。



大塚市P連会長

また、人権には様々な課題がありますが、これを正しく伝えていくためには、日頃から家庭での話し合いの環境ができればいいと思います。そして、学校や地域活動において、人権教育学級で学んだことを発揮していただければと思います。引き続き、ご協力のほどよろしく申し上げます。

3 主催者・共催者・担当課職員紹介

○教育長 寺岡 悌二 ○市P連会長 大塚 俊夫 ○生活環境部長 江上 克美
○人権同和教育啓発課（課長 三宅達也 他）

4 託児担当者の紹介とお礼のことば

○上村 京子さん ○松井 真矢さん

お二人が温かくお子様を見守ってくださったおかげで参加された方も安心して人権教育学級に臨むことができました。本当にありがとうございました。



上村さんと松井さんへ
お礼を述べる塩地参事

5 受講生代表のことば

明星幼稚園 佐藤 真弓 さん

今年度、幼稚園の保護者会よりこの人権教育学級に参加させていただきました。

初めは、「毎月1回といっても一年間大変だなあ」「知らない人とグループになって意見交換をして発表するなんてできるかなあ」という不安な気持ちと緊張でいっぱいでした。

人権教育学級は、「人権とは、人間が人間らしく幸せに生きていくための権利で私たち一人ひとりに平等に与えられたものです。」というお話から始まり、毎回、各講師のお話に引き込まれ、夢中で聞いていました。

特に、同和問題は、過去の問題だと思っていたのですが、今でも差別が存在し、続いていることに驚きました。毎回、会のはじめに部落差別解消推進法や登録型本人通知制度の説明があるのは、そういうことなのかなあと問題意識をもって聞いていました。普段生活をしている中では知りえない問題で今も辛い思いをしている方がいるということ、そして、8月の「差別をなくす市民の集い」で、差別をされてきた方々が、災害時には支援活動をされていたという話を聞いて、「差別って何だろう」と真剣に考えるようになりました。

人権課題には、部落差別・女性・子ども・高齢者・障がい者・外国人・医療・さまざまな人権など8つの課題があり、さらに、さまざまな人権の中には、インターネット、LGBTなどもあるということをお話いただきました。すべてに共通していることは、一人ひとりを尊重し大切にすることが一人ひとりの幸せにつながるということです。

毎日のように、悲しいニュースが流れています。だからこそ、私たち大人が人権についてきちんと学び正しく知ること、そして、行動に移していくことが大切なのだと思います。そして、子どもたちに優しさや思いやりの心、みんなよいところも悪いところもあってそれを認め合うこと、そんな大切なことを伝えていきたいと思っています。



代表として言葉を述べる
佐藤 真弓さん

グループ学習では、たくさんの保護者の方と意見交換ができ、悩んでいることやつらいことを話す中で、「私だけじゃないんだなあ」と、心が軽くなることもありました。

第5回目の講演の中で「言葉は薬」ということを教えていただきましたが、一人で抱え込まず、コミュニケーションを大切にしていきながら、まず自分が人権を意識して生活をしているかどうか、自分自身を振り返り、優しい気持ちで毎日過ごしていきたいと思っています。

このような学習の機会を与えていただき本当にありがとうございました。

6 終わりのことば